1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年6月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4676100235
法人名	社会福祉法人 豊生会
事業所名	グループホーム 隼人
所在地	鹿児島県霧島市隼人町松永3630番地3 電話 0995-64-2520
自己評価作成日	令和6年5月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和6年6月5日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホーム隼人は今年の8月で22年目になります。これも全て日頃よりご理解・ご協力頂けているご家族様のおかげだと思っております。また、ご利用者様が元気に過ごすことができているのは、日々頑張ってくれている職員の働きもあるかと思えます。また、入浴に関しては、掘り直した温泉を提供しており、お湯とは違う水質、香りを楽しんでもいただいております。環境としましては、緑に囲まれ四季折々の自然を目で肌で感じながら、ゆっくりとした時間を過ごされています。ご近所には、花の栽培や畑をされていらっしゃる方もおり、お散歩の際によらせていただき、交流を深めております。活動自体には限りがありますが、その中で食事の提供は力を入れ、ご利用者様の嗜好に合うような季節に合わせた、郷土ならではの献立にて食べることを楽しんでも感じていただいております。コロナの影響も少なからず、いまだ残っておりますが、地域交流会も徐々に再開しており「地域住民の相談窓口として、介護、なんでも相談所」としても頑張りたいと思っております。これからも慢心することなく、ご利用者様に満足いただける、安心していただけるサービスの提供をしていきたいと考えております。

- ・当事業所は、特別養護老人ホームを母体とする社会福祉法人の運営で、利用者の状況や家族等の意向に沿ってグループ内のサービスの選択が可能となっている。
- ・協力医療機関との24時間の医療連携体制を築き、各ユニットに看護の有資格者を配置することで日常の医療・健康における家族の安心となっております。
- ・地域の草刈りへの参加や中・高校生及び演芸のボランティアを受け入れるなど、住民との交流に努めており、地域からも事業所夏祭りへの参加や野菜の差入れがある。また、年1~2回は運営推進会議に警察や消防署の参加がある。
- ・家族との居室面会や外出による交流を支援し、関係が途切れないように取り組んでいる。
- ・管理者は、職員の資格取得や研修受講を支援し、休憩時間の確保や有給取得など働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念については職員の目に入る所に貼り付けており、共有、理解できるようにしている	理念は玄関とリビングに掲示しており、職員は各自で確認してケアに当たっている。全体ミーティング時にケアの振り返りを行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	地域の方々が高齢化や引っ越しをされるなどで人が減ってきているので地域との関りが減ってきているので今少しずつ関りを増やすように努力している	2～3ヶ月に1回の地域の草刈りや散歩時のあいさつ、事業所の夏祭りへの住民参加、住民からの野菜の差入れなどの機会に住民との交流に努めている。中・高校生のサマーボランティアや職場体験学習の受け入れも実施している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	ライフサポートワーカーが在籍している、まちかど相談所としてだれでも気軽に来援できるようにしている		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月に会議を行い資料を基に意見交換し会議で出た意見を共有しいかせられるように話し合いをしている	2ヶ月に1回の運営推進会議を実施し、事業所の状況報告及び意見交換を行っている。年1～2回は消防・警察署から講師で参加してもらっており、講話や委員の助言をサービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議開催で市町村担当とは相談や報告など話しやすい関係にある。霧島市主催の行事にはなるべく参加し質の向上に努めている</p>	<p>運営推進会議時の意見交換や窓口に出向いての相談で、市の担当者とは連携を取っている。生活保護担当者の3ヶ月毎の来訪もある。市主催の福祉祭りや集団指導・地域連合の研修に参加し情報を得ている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>施設でも、法人でも3か月に1回身体拘束委員会を開催し事例や勉強会を行い身体拘束をしないケアに努めている</p>	<p>指針は法人で作成し、法人と事業所でそれぞれ委員会を3ヶ月毎、研修を年2回チェックリストや動画を活用し実施している。不適切な言葉に気づいた時は管理者から注意を促している。玄関は施錠せず、外に出たい利用者には職員と一緒に散歩するなどの対応をしている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>グループホーム単人での委員会実施と3か月に1回法人全体での委員会を開催している</p>			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>三か月に一度法人全体で委員会を実施している</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時利用者様の立場になり、利用者様やご家族様が不安にならないようなわかりやすいように説明対応を行っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に相談箱設置し、面会時にはコミュニケーションを積極的にとり不安など気軽に言えるよう努めている。	日常会話で把握した利用者の希望は、食事に取り入れたり家族の協力で対応している。家族には電話や面会時に要望を聞いてその都度対応しており、リハビリの要望には事業所の取り組みを伝え、訪問マッサージ・訪問リハビリの情報提供も行っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	各ユニットや施設内で会議を定期的に行い職員の要望や意見を聞き運営者の指示、方針を伝えている。	管理者は、グループラインや全体会で職員の意見を聞き反映できるように努めている。個別相談はリーダーが受け管理者に報告している。ケアに関しては各ユニットで話し合っ対応しており、必要時は全体会で検討して意見反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の資格取得に向けた支援を行ったり、休暇などはなるべく希望に沿った日に取れるよう調整し働きやすい職場づくりに努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の意見を聞き内容に沿った研修を紹介したり、外部研修に順番に参加できるように取り組んでいる</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修に参加した際は他施設の方たちと連絡先交換やコミュニケーションをとり意見交流したりしサービスの向上に努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人が安心して入所される様、想いや気持ちに寄り添った会話を心がけている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族等の相談に対しては、心配事不安を受け止めグループホームとしてできる助言対応を行っている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご利用者様やご家族の思い状況等を確認し改善に向けた支援の提案、相談を繰り返し信頼関係を築きながら必要なサービスにつなげるよう努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>人生の先輩として尊敬を持ちながら話や対応心掛けている。自分も一緒に生活しているんだと考え努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時や電話対応の際情報交換を行いご家族との信頼関係を築けるよう心掛けている</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>入所前に行かれてた馴染みの場所や人と電話や手紙等で交流していただき関係が途切れないようにしている</p>	<p>家族との電話や面会による交流及び、馴染みの美容院利用や外食・買い物に家族と外出するなどこれまでの関係が途切れないように支援している。職員が墓参りやドライブに同行することもある。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の相性や関係に気を配りスタッフが間に入ったり席を替えるなどし対応し努めている</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所後も家族からの相談など受け、関係を断ち切らないようにしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関りの中で声掛けを行い把握に努めている。会話が困難な方は家族などから情報を得て努めている	日々の生活の中でゆっくりしている時に話されることがあり、思いや意向を把握できるように努めている。困難な場合は、家族の情報や本人の反応などから思いを推測して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前、入所時にはおおまかに把握しているが不十分であるため家族や親戚の方から情報収集を行っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	事前にケアマネがご家族にアンケートをお願いして生活の理解をしている。職員同士情報を共有し生活の把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の生活の中や、ご本人様ご家族からの意見を聞きながらミーティング等で情報共有し介護計画書の作成に取り組んでいる	家族の面会時に担当者会議を実施し、日常業務やミーティング時に出された職員の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングを2～3ヶ月に1回実施し、6ヶ月毎及び状況変化時に見直して現状に合った介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活の言動を詳細に個別の介護記録に残している。申し送りやノート、ミーティングで情報の共有を行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	通院、外泊、墓参りなど本人の意向に沿えるように柔軟に支援している。可能な限り対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者様が安心して暮らし続けられるよう、消防署と協力し通報、避難、消火訓練を行っている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事前に病院に確認し、ご本人やご家族が希望されるかかりつけ医になっている。話をしたあとかかりつけ医に往診をお願いしている	契約時にかかりつけ医の希望を確認し、全員協力医療機関の訪問診療を受けている。歯科及び皮膚科の訪問診療も実施しており、他科受診は家族の協力も得て対応し、適切な医療を受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>体調や些細な表情の変化を見逃さないように早期発見に取り組んでいる。変化等に気づいたことがあれば看護師に報告し適切な医療につなげている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご家族と情報の交換を行いながら入院先の地域連携室との情報交換を密にして早期退院ができるように努めている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>グループホームとしての看取りに関する指針を定め家族の同意をもらっている。看取りの時期が来た場合は都度、事前意思確認書の確認もおこなっている</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について看取り指針で説明し、同意書をもらっている。必要時に特別養護老人ホームについての説明をしている。重度化の場合に、医師から家族に病状を説明し、意向を確認している。家族の意向に沿って看取り介護も含めて支援に取り組んでおり、看取り介護の実績がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急マニュアルを作成し緊急時について備えている。法人内で緊急時の対応の仕方やAEDの使い方などを訓練している</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災を想定した訓練を行い年に1回は消防署の方々にも協力していただいている</p>	<p>昼夜想定で年2回避難訓練を実施し、消防署の立ち合いを1回、受けている。運営推進会議時に協力を依頼しており、参加してもらえる時もある。近隣に声掛けをしている。非常用の備蓄は、3日分の水・缶詰・缶パン・ごはん等の食料及びカセットコンロ・発電機を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は個人情報について守秘義務を図っている。話をしている時や介助時、更衣時などで配慮に心掛けている	年1回接遇研修を実施している。さん付けでの呼びかけや入室時の声かけ、排泄介助や職員間の情報交換は大声で言わない、希望で同性介助にも対応するなど、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	こちらが決めるのではなく1人1人の意見を聞きご本人様の思いや希望に添えるように努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日のおおまかな流れはあるがすすつかしないかはご本人の意思におまかせしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居前に利用されていた理容、美容室をご利用していただいたり化粧の習慣がある方などはなるべく支援できるように努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の希望をお聞きして苦手な食べ物やアレルギーがある方には献立を変更するなどの対応をしている	昼・夕は3ユニットまとめて調理して個々に応じた食事形態で提供し、利用者も下拵えや茶わん洗いを一緒にしている。行事食や誕生日の好物・ケーキ、仕出し弁当などを楽しめるように工夫して提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分がなかなか取れない方などにはゼリーや味が付いたものなどして必要量が摂取できるように工夫している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い異状がある方などはかかりつけの歯科医に来ていただいたりしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の時間を個別に把握しさりげないトイレ誘導を心がけている	日中は個々に応じた時間誘導を行い、半数がトイレでの排泄となっている。時間誘導などのトイレ訓練で、オムツからリハビリパンツやトイレでの排泄に改善した事例がある。夜間のみ、ポータブルトイレやオムツを使用する利用者もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝野菜ジュースやヤクルトや牛乳を飲んでいただいたり一日水分(1000ml)前後摂って頂けるように取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	温泉浴を楽しんでいただけるよう1対1で行い、入りたくないという方は時間や日にちの変更を行っている	週3回午前中にリフト浴やシャワー浴の温泉浴を楽しんでいる。ゆず湯や希望で同性介助も実施し、午後は汚染時の入浴支援をしている。嫌がる場合は、日時を変えたり声掛けを工夫して支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室内の温度や生活音に気を付けてご本人様に合わせた就寝時間に誘導するよう心掛けている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬がないようにダブルチェックを心がけ飲んでいただく際はスタッフ同士声掛けを行うようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常の生活の中で発せられたことを共有し買い物、食事、施設内の役割など提供できるように努めている。毎週月曜日にセブンイレブン移動販売もありご自身で選んでお買い物を楽しんで頂いております		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>1人1人のその日の状態や気分に合わせて散歩や外出の機会を設けストレス発散に努めている</p>	<p>日常的に近隣の散歩をしており、菜園の作業や収穫を利用者も一緒にしている。年間計画を立てて、季節の花見や垂水の足湯・高千穂へのドライブに出掛けたり、その日の希望や個別対応の買い物のドライブも実施している。家族と外出する利用者もある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族とご本人と話し合いをし希望がある際は財布やお金を個人で持っていていただいている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者様より電話の要望があれば職員が繋ぎお話していただいている。手紙が届いたときは代筆も実施している</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>光量の調整や生活音の調整季節感のあるものを飾ったり距離ごとに椅子を置いたりして配慮に心掛けている。トイレには匂いが籠らないように消臭剤を置きリラックスしていただく。</p>	<p>リビングは空気清浄機や加湿器・エアコンで適度な室内環境に調節し、窓を開けて換気も十分行っている。季節の作品を飾った室内でモップ掛けを利用者も一緒に行っている。車いすの動線確保のためソファを除き、椅子や畳スペースでくつろげるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共同の空間で1人になれることはないが椅子を設置したり利用者同士の関係性に配慮した配置を心掛けている</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族様にご利用様の大事にされているものや馴染みのものを持ってきていただけるようお願いをし、馴染みの物を活かした生活ができるよう心掛けている</p>	<p>居室には、ベッドやクローゼット・床頭台・三段ボックスが備えてあり、寝具はリースである。本人は自宅で使い慣れた寝具や仏壇・テレビ・加湿器・座椅子・写真・遺影・掛け軸・化粧品などの身の回りの品で安心して過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>日常生活の動作を把握し手すりや椅子の設置環境整備を行ったりと援助に努めている</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない